

スペシャルレクチャー（特別講演）

講師紹介

渡辺 充（わたなべ みつる） 先生

所属

シスメックス株式会社
〒651-2271 神戸市西区高塚台 4-4-4

略歴

1980（昭和55） 大阪大学基礎工学部卒業
東亜医用電子株式会社（現シスメックス株式会社）入社
1995（平成7） 開発企画室長
1997（平成9） 人事部長
2003（平成15） 新規事業本部長
2005（平成17） 執行役員 研究開発企画本部長
2009（平成21） 取締役 執行役員 研究開発担当（現任）

スペシャルレクチャー（特別講演）

「日本独自の複合化技術を神戸から世界へ ～臨床検査のイノベーション～」

平成23年2月6日（日）10:20～11:00



神戸市西区 弊社テクノパーク

講演内容の紹介&高校生の皆さんへのメッセージ

日本では今急激な経済情勢の変化によりものづくりの空洞化が拡大していると言われていますが、もともと日本人の持っている繊細な感覚や特徴のある高い技術力は、高性能な製品を生み出すことに長けたものです。家電製品などの大量生産される品々がどんどん海外でのものづくりに移行していく中で、そのコアとなる部品や一部の高性能ロボット、医療機器などはまだまだ日本の技術力によってその多くが開発・製造されています。そして、私たちシスメックスが世の中に製品を送り出している臨床検査という分野でも、日本の優れた技術が多くの場面で活躍していますが、その中でも私たちはこの国際港湾都市の歴史を持つ神戸から世界の150を超える国々にその技術を発信しています。

臨床検査というのは、CTのように画像で体内を直接透視してみたり、血液や尿などの体液を取り出してその成分を分析したりして、体の状態（病態）を確認するものです。そして、その結果から病名や進行状況、さらには治り具合などを医師が判断（診断）し、治療方法の決定などに大きく役立てられています。

では、実際に血液から一体どんなことがわかるのでしょうか。一昔前は大体のことしかわかりませんでした。最近では遺伝子情報なども含めて技術が大きく進歩し、かなり詳しい状態がわかるばかりでなく、がんなど難しい病気の原因究明にも役立っています。これらの技術どのような科学によって成り立つのか、またこれらがここ神戸で次々と誕生していく様を知れば、皆さん方も科学技術に対する興味をさらに深く持っていただけるものと思います。